

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス衣笠教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		~ 2026年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 3人
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		~ 2026年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童発達支援と放課後等デイサービスの利用者が交流できる環境を整えており、児童発達支援から放課後等デイサービスへの持ち上がりができる。	就学を控えた利用者に放課後等デイサービスの利用者との関わりを持てるように一緒に取り組める活動の提供をしている。 ・スムーズに小学校就学ができるように、小学生との関わる場を提供している。	・土曜日など、放課後等デイサービスでのイベントなどにも一緒に参加できるようにしている。 ・随時、保護者の方からの相談を受け付けられる体制を整えており、ニーズに沿った支援を提供できるよう努めている。
2	・1コマ30分ほどの療育トレーニングを提供している。	・週間テーマを設定し、毎週活動の異なる療育トレーニングを提供している。 ・週間テーマに沿った活動を個別のレベルに合わせて提供、サポートしている。	・苦手なことや嫌いなことに興味を持ってもらえたり、“できた”という成功体験を積んでもらえるよう日頃から職員間で活動内容を検討している。
3	・保育士・幼稚園教諭・社会福祉士・精神保健福祉士など様々な資格を有している職員が在籍している。	・教室内に各々の職員のプロフィールを掲示し、実際に支援に携わる職員を保護者に周知している。また、関係機関へ事業所の体制面について周知している。	・それぞれの職員がより、適切な支援を提供できるよう日々、研修などを通して自己研鑽に努める場を設けている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・バリアフリー化が不十分の為、対象となる利用者の受入れが現状難しい。	・事業所が3階にあり、階段を使っでの来所が必要なこと。	・エレベーターやスロープなどの設置が必要。
2	・個室の大きさが広くないため、個別活動に取り組む場所が限られている。	教室の構造上、相談室を個別活動の部屋として活用しているが、同じ室内に活用できる空間がない。	空間として繋がっていないが、教室の隣の部屋が倉庫となっているため、将来的にはそちらを活用できると良いと考えている。
3			